

公務員試験 ジャーナル

第42巻 臨増2号
2021年1月25日発行

特集
①

2020年度(令和2年度) 国家一般職高卒／税務職員採用試験 税務職員人気上昇。合格者の女性比率上昇。

特集①では、共通の問題で試験が行われた国家一般職(高卒者)採用試験と税務職員採用試験の実施結果について、2020年11月に公表されたデータをもとに、その動向を追ってみる。

国家一般職(高卒者)採用試験

全体の状況(資料1)を見ると、申込者数は13,824人(前年度は15,338人。前年度比90.1%)に減少したのに対し、最終合格者数は3,075人(前年度は3,037人。前年度比101.3%)に微増した。女性の最終合格者数は1,002人(前年度は1,056人。前年度比94.9%)に減少し、合格者に占める女性の割合は32.6%となった(前年度比2.2ポイント減)。

区分別に見ると、事務区分については申込者数と最終合格者数がともに減少し、競争率は前年度より0.4ポイント低い5.6倍となったものの、依然厳しい争いとなった。技術区分については、申込者数および最終合格者数はともに増加し、競争

率は前年度より0.2ポイント低い1.7倍に落ち着いた。農業土木区分および林業区分については、ともに最終合格者数が増加したため、競争率は前年度より低下した。農業区分の募集はなかった。

なお、事務区分および技術区分の地域別の実施結果については、資料2を参照してほしい。

税務職員採用試験

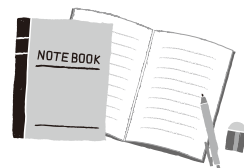
全体の状況(資料1)を見ると、申込者数は7,210人(前年度は6,644人。前年度比108.5%)、最終合格者数は1,672人(前年度は1,455人。前年度比114.9%)とともに増加し、競争率は前年度より0.3ポイント低い4.3倍となった。女性の最終合格者数は659名(前年度は540名。前年度比122.0%)に増加し、女性の割合は39.4%(前年度比2.3ポイント増)と高水準となった。

区分別に見ると(資料3)、申込者数は東北・東海北陸を除く7区分で増加、最終合格者数は関東甲信越・九州を除く7区分で増加した。

資料1 ● 2020年度(令和2年度) 国家一般職(高卒者)／税務職員採用試験実施結果

試験区分	申込者数(人)		最終合格者数(人)		競争率(倍)	採用予定数(人)		
	うち女性	うち女性						
国家一般職高卒	事務	12,206	4,413 (36.2%)	2,187	882 (40.3%)	5.6	1,069	
	技術	1,229	178 (14.5%)	720	99 (13.8%)	1.7	469	
	農業	募集なし						
	農業土木	235	21 (8.9%)	118	13 (11.0%)	2.0	48	
	林業	154	21 (13.6%)	50	8 (16.0%)	3.1	32	
	合計	13,824	4,633 (33.5%)	3,075	1,002 (32.6%)	4.5	1,618	
税務職員	7,210	2,154 (29.9%)	1,672	659 (39.4%)	4.3	900		

※ () 内は女性の割合。
※競争率=申込者数÷合格者数。



資料2●2020年度（令和2年度）国家一般職（高卒者）採用試験区分別実施結果

(人)

試験区分		申込者数		一次合格者数		最終合格者数		採用予定数
事務	北海道	672	(246)	120	(45)	83	(33)	50
	東北	912	(396)	197	(86)	128	(57)	58
	関東甲信越	6,077	(2,086)	1,745	(634)	1,428	(553)	637
	東海北陸	818	(286)	189	(74)	125	(58)	74
	近畿	824	(264)	179	(54)	119	(42)	77
	中国	562	(195)	83	(25)	52	(14)	33
	四国	301	(129)	54	(25)	34	(17)	18
	九州	1,575	(652)	291	(135)	180	(92)	101
	沖縄	465	(159)	57	(21)	38	(16)	21
合計	12,206	(4,413)	2,915	(1,099)	2,187	(882)	1,069	
技術	北海道	92	(11)	76	(9)	72	(9)	82
	東北	145	(15)	108	(9)	98	(8)	72
	関東甲信越	335	(49)	215	(35)	184	(30)	132
	東海北陸	118	(21)	89	(16)	62	(8)	33
	近畿	80	(16)	61	(10)	47	(8)	19
	中国	59	(13)	33	(8)	32	(7)	34
	四国	52	(10)	30	(3)	25	(2)	21
	九州	339	(42)	248	(32)	198	(27)	72
	沖縄	9	(1)	2	(0)	2	(0)	4
合計	1,229	(178)	862	(122)	720	(99)	469	
農業	募集なし							
農業土木	235	(21)	162	(16)	118	(13)	48	
林業	154	(21)	73	(9)	50	(8)	32	
国家一般職高卒 合計	13,824	(4,633)	4,012	(1,246)	3,075	(1,002)	1,618	

※（ ）内は女性の内数。

※採用予定数は最終合格発表時の数値。

※農業土木、林業は事務局（所）単位ではなく、全国単位で募集している。

資料3●2020年度（令和2年度）税務職員採用試験区分別実施結果

(人)

試験区分	申込者数		一次合格者数		最終合格者数		採用予定数
北海道	301	(86)	113	(33)	63	(23)	37
東北	536	(187)	206	(68)	136	(53)	56
関東甲信越	2,890	(782)	1,038	(291)	615	(230)	344
東海北陸	753	(236)	374	(126)	193	(88)	123
近畿	853	(213)	418	(123)	254	(95)	140
中国	434	(149)	276	(94)	141	(53)	67
四国	247	(81)	159	(55)	92	(36)	45
九州	1,029	(362)	252	(98)	139	(64)	68
沖縄	167	(58)	78	(28)	39	(17)	20
税務職員 合計	7,210	(2,154)	2,914	(916)	1,672	(659)	900

※（ ）内は女性の内数。

※採用予定数は最終合格発表時の数値。

2020年度（令和2年度）国家専門職／特別職採用試験 入国警備官が人気。最終合格者数も急増。

特集②では、国家専門職採用試験と特別職採用試験の実施結果について、公表値を取りまとめた資料をもとに振り返る。なお、特別職のうち防衛省職員については、国家一般職（高卒者）採用試験合格者から採用されるため割愛する。また、税務職員については特集①を参照してほしい。

国家専門職採用試験

2020年12月現在、人事院より公表されている国家専門職採用試験の実施結果（資料4）から動向を見てみよう。なお、職種によっては社会人対象の試験区分があるが、ここでは高卒者対象の試験にのみ触れる。

●刑務官

刑務Aは男性、刑務Bは女性を対象としており、それぞれ一般の採用枠に加えて武道経験者の採用枠がある。また、それぞれ試験地域ごとの採用となっており、個別の実施結果も公表されているが、紙幅の都合上割愛した。

2019年度（令和元年度）は、それまで同日に実施されていた刑務官と警察官9月型の一次試験が別日となったことで申込者数が急増したが、2020年度（令和2年度）は再び同日実施となったため、2018年度（平成30年度）とほぼ同水準に戻った。

まず、一般採用枠となる「刑務A」と「刑務B」について述べる。刑務Aは申込者数3,308人（前年度比42.4%）、最終合格者数494人（同比82.7%）。刑務Bは申込者数1,136人（前年度比41.8%）、最終合格者数276人（同比78.9%）。競争率は刑務Aが6.7倍（前年度比6.4ポイント減）、刑務Bが4.1倍（同比3.7ポイント減）と大きく低下した。

武道経験者採用枠となる「刑務A（武道）」と「刑務B（武道）」は、どちらも申込者数が減少、最終合格者数が増加したため、競争率が低下した。刑務A（武道）は申込者数366人（前年度比75.3%）、最終合格者数156人（同比105.4%）、競争率2.3倍（同比1.0ポイント減）。刑務B（武道）は申込者数71人（前年度比79.8%）、最終合格者数43人（同比122.9%）、競争率1.7倍（同比0.8ポイント減）。

●皇宮護衛官

申込者数は419人（前年度比118.4%）、最終合格者数は21人（同比123.5%）となった。ともに人数は増加し、競争率は20.0倍（前年度比0.8ポイント減）と例年通り厳しい争いとなった。

●入国警備官

採用予定数が前年度より大きく増加したためか、申込者数が2,675人（前年度比139.5%）、最終合格者数が393人（同比304.7%）といずれも急増した。競争率は6.8倍（前年度比8.1ポイント減）と大きく低下した。

●海上保安学校学生

現時点で最終結果が出ているのは、船舶運航システム課程、情報システム課程、管制課程、海洋科学課程である。最終合格発表前の航空課程については、本稿では触れない。

✓船舶運航システム課程 申込者数3,310人（前年度比146.8%）、最終合格者数556人（同比128.4%）、競争率6.0倍（同比0.8ポイント増）。

✓情報システム課程 申込者数195人（前年度比88.6%）、最終合格者数63人（同比116.7%）、競争率3.1倍（同比1.0ポイント減）。

✓管制課程 申込者数83人（前年度比84.7%）、最終合格者数26人（同比113.0%）、競争率3.2倍（同比1.1ポイント減）。

✓海洋科学課程 申込者数86人（前年度比141.0%）、最終合格者数18人（同比150.0%）、競争率4.8倍（同比0.3ポイント減）。

特別職採用試験

2020年12月現在、各機関より公表されている特別職採用試験の実施結果（資料4）より動向を見てみる。なお、国会図書館一般職高卒については、2020年度試験が実施されなかった。

●裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）

裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）は、採用管轄区域別の実施結果が公表されている。最も競争率が高かったのは「大阪高等裁判所の管轄区域」で、57.1倍（前年度比21.0ポイント増）だった。大阪は唯一最終合格者数を前年度より絞った区域であり、競争率が跳ね上がった。一方、最も競争

率が低かったのは「高松高等裁判所の管轄区域」で、15.9倍（同比14.1ポイント減）だった。

全体を見ると、申込者数は4,746人（前年度比122.9%）、最終合格者数は162人（同比124.6%）となった。競争率は29.3倍（同比0.4ポイント減）と若干低下した。

●衆議院一般職（高卒）

申込者数は1,022人（前年度比92.1%）、最終合格者数は11人（同比84.6%）となった。最終合格者数を絞ったことで競争率は92.9倍（同比7.5ポイント増）に達し、例年通り厳しい争いとなっている。

●衆議院衛視

申込者数は448人（前年度比209.3%）、最終合格者数は7人（前年度と同数）となった。申込者数が倍増したため、競争率は64.0倍（前年度比33.4ポイント増）にまで達した。



資料4 ● 2020年度（令和2年度）国家専門職・特別職（高卒程度試験）実施結果

職種・試験区分等		申込者数(人)	一次合格者数(人)	最終合格者数(人)	競争率(倍)	採用予定数(人)
国家専門職	刑務官					
	刑務A 全地域合計	3,308	1,058	494	6.7	
	刑務B 全地域合計	1,136 (1,136)	571 (571)	276 (276)	4.1	
	刑務A・B 合計	4,444 (1,136)	1,629 (571)	770 (276)	5.8	
	刑務A（武道）全地域合計	366	196	156	2.3	
	刑務B（武道）全地域合計	71 (71)	47 (47)	43 (43)	1.7	
	刑務A・B（武道）合計	437 (71)	243 (47)	199 (43)	2.2	
	皇宮護衛官（高卒）	419 (135)	118 (26)	21 (4)	20.0	17
	入国警備官	2,675 (702)	581 (149)	393 (105)	6.8	205
	海上保安学校学生					
船舶運航システム課程	3,310 (492)	889 (100)	556 (71)	6.0	280	
航空課程	309 (26)	114 (9)			25	
情報システム課程	195 (51)	86 (21)	63 (19)	3.1	60	
管制課程	83 (42)	33 (23)	26 (20)	3.2	20	
海洋科学課程	86 (23)	24 (6)	18 (6)	4.8	15	
合計	3,983 (634)	1,146 (159)			400	
特別職	裁判所一般職（裁判所事務官・高卒）					
	札幌高等裁判所の管轄区域	381 (163)	60 (28)	10 (7)	38.1	3
	仙台高等裁判所の管轄区域	446 (179)	89 (42)	18 (14)	24.8	4
	東京高等裁判所の管轄区域	825 (358)	136 (56)	41 (26)	20.1	20
	名古屋高等裁判所の管轄区域	455 (197)	79 (31)	15 (9)	30.3	5
	大阪高等裁判所の管轄区域	628 (205)	57 (18)	11 (6)	57.1	8
	広島高等裁判所の管轄区域	272 (133)	58 (23)	14 (6)	19.4	4
	高松高等裁判所の管轄区域	191 (86)	51 (20)	12 (9)	15.9	3
	福岡高等裁判所の管轄区域	1,548 (631)	210 (76)	41 (25)	37.8	9
	合計	4,746 (1,952)	740 (294)	162 (102)	29.3	56
国立国会図書館一般職（高卒）			募集なし			
衆議院一般職（高卒）	1,022 (466)	87 (非公表)	11 (7)	92.9	10	
衆議院衛視	448 (72)	48 (非公表)	7 (1)	64.0	7	

※社会人対象の試験区分は割愛。（ ）内は女性の内数。

※競争率＝申込者数÷最終合格者数。

※採用予定数：受験案内等に記載された数値。刑務官については、区分別の採用予定数が「若干名」とされている場合は通算できないため、一部空欄とした。

※刑務Aは男性、刑務Bは女性が対象。刑務官は地域ごとの採用だが、ここでは全地域の合計を掲載。

なお、刑務Bおよび刑務B（武道）の沖縄は実施なし。

『公務員試験ジャーナル』
バックナンバーについて

本年と前年の『公務員試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材 NAVI」
でご覧いただけます。

高等学校のTOPページ（<https://www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/>）より、
「活用情報」→「指導情報」をご覧ください。